

保護者の皆様

川西市立川西北幼稚園

## 「学校評価についてのアンケート」結果について

平素より保護者の皆様には、本園の教育にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。アンケートから分かった本園の現状と課題をお伝えし、さらに安心、信頼していただける幼稚園となるよう、今後の教育活動に取り入れてまいりたいと思います。

### 前年度の調査の中で課題ととらえ、取り組みに対して改善を試みてきた項目は

- ②わが子は、学級に気の合う友達がいる
- ⑤わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている
- ⑥わが子は、友達を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育ってきている
- ⑩保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じることができる

### 今回の調査で、ア「そう思う」が80%を超える項目は

- ①わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている
- ②わが子は、学級に気の合う友達がいる
- ③幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている
- ④わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている
- ⑨幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている
- ⑪幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している
- ⑫幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている
- ⑭幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している
- ⑮幼稚園は、保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている

これらの項目は、本園の特色として、今後も継続して実践に努めます。

### 今回の調査で、ア「そう思う」のポイントがやや低めの項目は

- ⑤わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている
- ⑥わが子は、友達を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育ってきている
- ⑩保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じることができる

⑤⑥に関して、ここ数年「前年度の調査の中で課題ととらえ、取り組みに対して改善を試みてきた項目」として挙がっています。保護者の方と、職員との捉え方や感じ方が少し違うことに気が付きました。(保護者と職員の評価に差があるため)幼稚園として、保護者への啓発方法が不十分だったり、幼稚園での子どもの姿や職員の思いを知っていただけるように十分努められていなかったりしていたためと考えます。

⑩に関して、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参観の形態を変更せざるを得ませんでした。その時に、できるだけことは取り組み、回数としてはコロナ禍以前と数回しか変わらないのですが、時間が短かったり、人数を制限したり、中止から延期になったりしたことで、参観ができなかったというふう感じられたように思います。また、小学校内仮設にすることで、子どもの様子を見ることができにくく、どうしても閉鎖的になってしまったのも事実です。しかし、本園において、今現在新型コロナウイルス感染症の拡大がみられない状況は、保護者の皆様のご理解とご協力の賜物だと感じています。ありがとうございます。

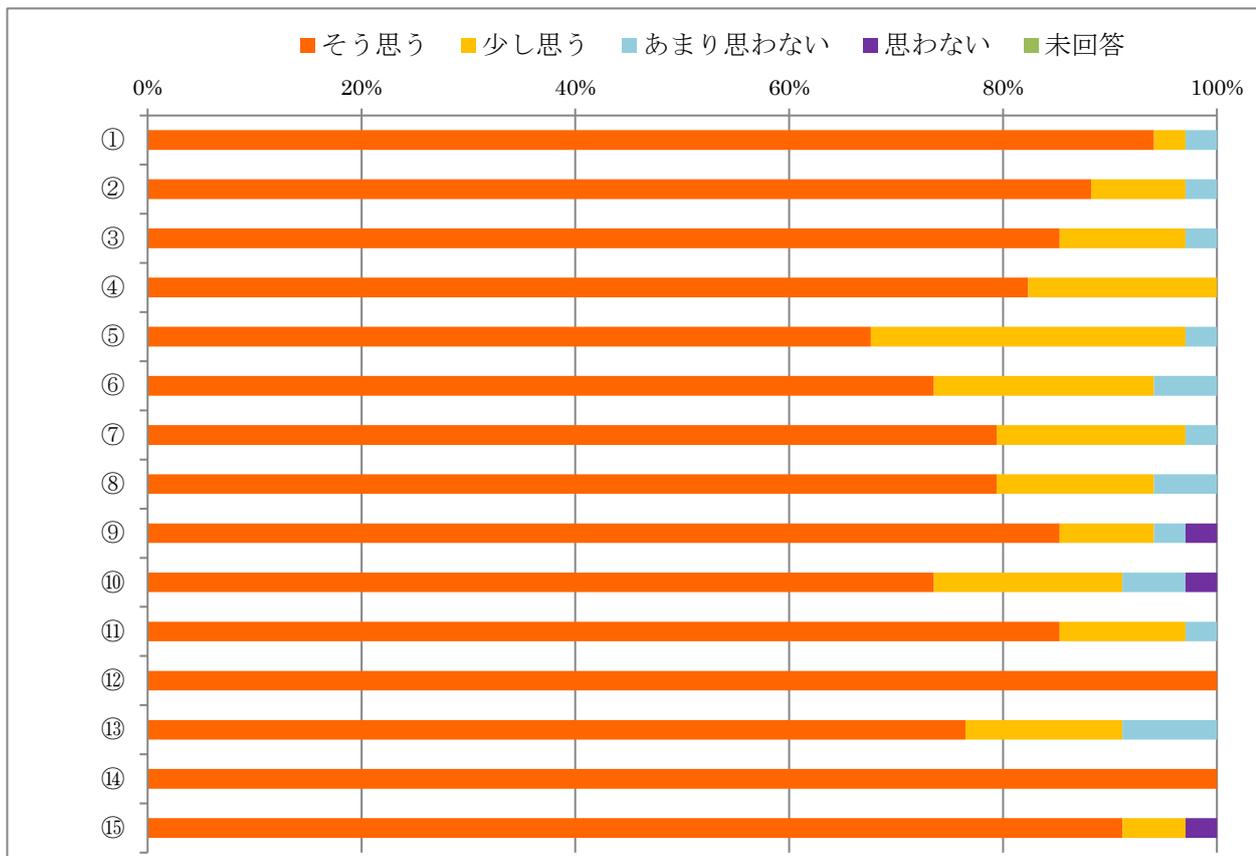
## 【アンケート項目】

- ①わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている
- ②わが子は、学級に気の合う友達がいる
- ③幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている
- ④わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている
- ⑤わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている
- ⑥わが子は、友達を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育ってきている
- ⑦わが子は、夢中になって遊び込むことができている
- ⑧幼稚園は、小学校や中学校、保育所などの学校間交流や地域交流をよく行っている
- ⑨幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている
- ⑩保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じることができる
- ⑪幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している
- ⑫幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている
- ⑬幼稚園は、施設、遊具の安全に努めている
- ⑭幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している
- ⑮幼稚園は、保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている

## 【アンケート集計結果】

○実施時期 令和4年2月7日～2月10日

○回収率 87.2% (家庭数39、回答数34)



## 【自由記述欄より】

- 子どもたちがのびのびと過ごせるよう、先生たちが環境を整えてくださって本当にありがたいです。
- 園の外に出ることが難しいコロナ禍でも、小さくならずのびのび遊べるように工夫してくださってありがとうございます。いつも感謝しています。  
→子どもたちの興味や関心を捉え、小学校内での環境を活かし、整えながら取り組んできました。保護者の方にご理解いただき、大変嬉しいです。
- 卒園して次のステップを踏み出した時、躓きもなく小学校生活に馴染めたのは幼稚園での伸び伸びとした教育の賜物だったとつくづく思います。こども園に移行しても今の教育方針が継続されることを願っています。  
→こども園では幼稚園と保育所の両方のよさが活かせるように、取り組んでいきたいと思います。
- コロナの影響で、保育参観の機会が少なかったです。例年でしたら「そう思う」を選んでいましたが、なんとも答え難かったので「少しそう思う」にしました。  
→コロナ禍において、その時の状況下でできるだけのことはしてきました。三密を避けるとなると、保護者の方の参観、参加は難しいのが現状でした。
- 園生活がわからないのでデジカメで撮っている写真を販売して欲しいです。行事も数える程しかなく子供も親に出来た事を見てもらって誉めてもらいたいだろうし、聞きづてではなく実際目にしながら誉めてあげたいです。  
→行事などの集合写真は年度末に販売させていただきます。プロのカメラマンと園が契約（アルバム作成のため）していることもあり、写真販売が難しいというのが現状です。  
教育・保育を可視化するために、クラスだよりに写真を掲載したり、ドキュメンテーションという形でお知らせしたり、ホームページを毎日更新したりすることを心掛けてきました。
- 2年間遠足の経験がないこどもたちを不憫に思います。昨年秋、小学校でも校外学習が行われていた時期に遠足に行けなかったのは何故でしょう。卒園を控えた今残念な思いでいっぱいです。  
→昨年度と今年度は、2学期に運動会、発表会があり、ここに遠足をいれることで、行事に追われ、子どもたちの遊びが保障できないことを危惧していました。3学期は比較的行事も少なく、ゆったりと遠足に行ける、また閑散期でバス代が安いということも考慮していました。今回はオンライン園内ツアーを計画し、和歌山のアドベンチャーワールドとZoomでつなぎ、動物を見たり、クイズをしたり、質問をしたりすることができました。また、3月には徒歩で遠足に行く予定にしています。
- コロナ禍なので仕方ないとは思いますが、園庭開放の回数が少なかったり、また、道具の貸出が全くなかった事、お家が遠い方もいらっしやったので、配慮してほしかったと思います。  
→コロナ禍において、園庭開放は川西市教育委員会の決定により、市内公立就学前教育施設は一貫して、中止が決まります。仰る通り、今年度は園庭開放が少なかったと思います。  
遊具の貸出については、感染拡大を防ぐため、遊具等の貸し出しに躊躇していました。

**貴重なご意見をありがとうございました。**